



2023年  
2月8日  
No.A22-10

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2023年1月)

### 1. 中東調査会主催の行事

#### (1) トップ・ミーティング

・1月27日(金)、森 健良 外務事務次官「2023年の日本外交の展望」(於：オークラ東京)



#### <要旨>

ウクライナ侵攻によってポスト冷戦時代の終わりが確定的となった今、日本はG7議長国として、3つの柱①国際秩序の防衛、②グローバル・サウスとの連携強化、③強い立場から中露といった国々との関係マネジメントを行う、で新時代の秩序構築を目指すという説明がなされた。また、最近の日中、日韓、日台関係についても分析があった。

#### (2) 中東情勢オンライン講演会

・1月19日(木)、相川 一俊 駐イラン大使「イランの現状と今後の展望」(Zoom形式)

#### <要旨>

大使より、イラン内外政の現状につき説明があった。内政ではトランプ前米政権期の経済制裁やコロナ禍を経た経済状況をはじめとしたライシー政権の課題、また外政では近隣諸国

重視のルック・イースト方針、ロシアとの接近の一方で重視されているバランス外交、中国・インド等との関係について述べられた。また、ヒジャーブ着用にかかわる抗議運動の推移についても指摘された。



・1月30日(火)、池田 明史 東洋英和女学院学事顧問「ウクライナ戦争と中東」(Zoom形式)



#### <要旨>

講師より、中東戦略環境の構造的変遷を概観し、ウクライナ戦争を契機とした戦略環境の変容について説明があった。

(3) 中東情勢分析：駐日中東大使に聞く

・1月17日、「中東情勢分析：駐日中東大使に聞く」(第11回、アハメッド・ムハマド・ユースフ・アルドーセリ・バーレーン大使)を発行いたしました。是非お手に取ってご覧ください。

・1月30日、「中東情勢分析：駐日中東大使に聞く」(第12回、コルクット・ギュンゲン・トルコ大使)を発行いたしました。是非お手に取ってご覧ください。

※会員の方は無料でご覧いただけます。非会員の方もご購入いただくことが可能です(税込み1100円)。詳細はホームページをご参照ください。(https://www.meij.or.jp/event/189.html)

**2. 中東調査会の活動**

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2023年1月号(2023年2月8日付)
- 1. トルコ：エルドアン大統領が議会・大統領選の前倒し実施を表明
- 2. イスラエル：ネタニヤフ政権が発足直後から問題に直面
- 3. イラン：在イラン・アゼルバイジャン大使館への襲撃事件が発生
- 4. イラク：空軍強化を見据えたフランス訪問
- 5. アフガニスタン：ターリバーンが中国企業と油田採掘に向け大規模契約
- 6. リビア：アメリカが「ワグネル」を国際犯罪組織に認定

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend\_analysis/topics/)

(2) 中東分析レポートの発行【会員限定】

- ・No.12「2022年中東情勢の回顧と展望」(1月23日)

※内容はホームページをご参照ください

(https://www.meij.or.jp/trend\_analysis/report/)

(3) イスラーム過激派モニターの発行

- ・No.20「アラビア半島のアル=カーイダ【会員限定】で何をしてるのか」(1月11日)
- ・No.21「ペシャワール市のモスク爆破事件とパキスタン・ターリバーン運動の反応」(1月31日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend\_analysis/monitor/)

(4) 中東かわら版の発行

- No.132「イスラエル：ネタニヤフ内閣の成立」(上席研究員 金谷美紗、1月11日)
- No.133「イスラエル：司法改革をめぐるネタニヤフ政権と野党・法曹界・学生が対立」(上席研究員 金谷美紗、1月20日)
- No.134「トルコ：スウェーデンでのPKK支持者デモとクーラン焚書事件へのトルコの反応」(主任研究員 金子真夕、1月23日)
- No.135「アフガニスタン：ターリバーンによる女性の教育・就労への制限を受けて諸外国・機関による働きかけが活発化」(主任研究員 青木健太、1月24日)
- No.136「アルジェリア：国軍参謀総長のフランス訪問」(研究員 高橋雅英、1月30日)
- No.137「イラン：中部エスファハーンの軍事工場に対するドローン攻撃が発生」(主任研究員 青木健太、1月31日)
- No.138「GCC：ブダイウィー新事務局長の就任発表」(主任研究員 高尾賢一郎、1月31日)
- No.139「リビア：メローニ伊首相のトリポリ訪問、ガス開発契約の締結」(研究員 高橋雅英、1月31日)

(https://www.meij.or.jp/kawara/)

(5) その他の活動

- ・1月18日(水)、東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとくB/中東

諸国の紛争と平和」に、高橋研究員が出講した（演題：「リビア紛争における諸問題」。

- ・1月6日（金）、青木研究員が横浜市立大学講義にオンライン出講した（演題：「アフガニスタンは今どうなっているのか」）。

### 3.2 月の予定

- ・2月1日（水）、18:00～20:00、於：ザ・プリンス パークタワー東京 地下2階 「ボールルームAB」、「中東調査会設立60周年記念：駐日中東諸国大使との新年懇親会」
- ・2月8日（水）、16:00～17:30、中東情勢オンライン講演会（長谷直哉 ロシア NIS 貿易会モスクワ事務所長「制裁下ロシアによる中東諸国へのアプローチ」）
- ・2月24日（金）、8:30～10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング（倉井 高志 元駐ウクライナ大使（「ウクライナ情勢とわが国にとっての意味（仮）」））\*法人会員限定
- ・2月28日（火）、15:00～16:30、中東情勢オンライン講演会（岩井 文男 駐サウジアラビア大使「変貌し続けるサウジアラビア」）

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

### 4. 出版物刊行のご案内

- ・1月31日（火）、『中東研究』第546号（2022年度 Vol.III、定価：本体2000円＋税）が発行されました。本号は「ロシアと中東」と題する特集を組み、ウクライナ危機を契機に顕著となったロシアと中東諸国との関係に焦点を当て、イラン、トルコ、GCC、イスラエルとの関係や、民間軍事会社「ワグネル」の活

動についての論文を掲載しました。このほか、「最近の動向」では、リビア情勢や、アフガニスタンのターリバーンによる統治を分析した論文を所収しております。是非お手に取ってご覧ください。

※詳細はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/publication/chutoukenkyu>)

\*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

\*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。